

MISA SHIN GALLERY

3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com

プレスリリース
2022年8月

小沢剛 Ozawa Tsuyoshi BETA BETA コロナの頃

2022年9月2日(金) - 10月15日(土)
開廊時間: 火-土(日月祝休) 12:00-19:00



Ozawa Tsuyoshi, *α*, 2020-2022, Oil on canvas, 41.2 x 31.8 cm

MISA SHIN GALLERY は、9月2日(金)から10月15日(土)まで、小沢剛による個展「BETA BETA コロナの頃」を開催いたします。

2020年4月、全国を対象に新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出自粛、学校の一斉休校、水際対策のための入国制限と、街からは人の姿が消えました。それまではプロジェクトや展覧会などのため頻繁に渡航をし、フィールドワークなどを通じさまざまな人と出会い、共同でプロジェクトを進めることの多かった小沢の生活も一変しました。

「コロナが蔓延して家に閉じこもる時間が増えた。
時間の過ごし方が変わらなかった人はいないだろう。
人は皆、どんな変化があったのだろう。
僕はといえば、ほぼ物置と化していた小さなスタジオを整え、一人で制作して過ごすのが習慣になっていった。
以前のようにやたら遠くに出かけ、さまざまな人と共に制作をするスタイルとは真反対に、進んで孤独の時間を長く過ごしていた。
その時間の堆積はドローイングやペインティングになった。
ベタベタした油絵の具で立ち向かう孤独の時間は、世界や宇宙と向かい合う手段だと、今更気がついた。」

小沢剛

MISA SHIN GALLERY

3-9-11-1F, Minamiazabu, Minato-ku, Tokyo 106-0047 JAPAN
tel:+81-(0)3-6450-2334 fax:+81-(0)3-6450-2335
www.misashin.com info@misashin.com



Ozawa Tsuyoshi, *untitled*, 2021
Watercolor on paper, 25.3 x 36.1 cm

この期間に自分自身を保ち、時間をやり過ごすために始まったスタジオでの制作は、習慣となり現在も続いていると言います。これまでのさまざまな小沢のシリーズ作品と異なり、明確な目的がなくこれまでと違った日常の中で制作された作品は、逆に小沢自身の姿や内面を色濃く映し出していると言えるでしょう。

MISA SHIN GALLERY では3年ぶりとなる小沢剛の個展、ぜひご高覧ください。

小沢剛 Ozawa Tsuyoshi

1965年東京生まれ。1991年東京藝術大学大学院美術研究科壁画専攻修了。世界各地に自作の地蔵を置き写真におさめた作品「地蔵建立」、牛乳箱を用いてアートを表示する超小型移動式ギャラリー「なすび画廊」、美術史の名画を醤油で模写する「醤油画資料館」、野菜で作られた武器を持つ女性のポートレイトのシリーズ「ベジタブル・ウェポン」などが代表作として知られています。主な個展に2004年「同時に答えるYesとNo!」(森美術館)、2009年「透明ランナーは走りつづける」(広島市現代美術館)、2012年「小沢剛: あなたが誰かを好きなように、誰もが誰かを好き」(福島県立美術館、豊田市美術館)、2018年「小沢剛 不完全-パラレルな美術史」(千葉市美術館)、を開催。2016年「さいたまトリエンナーレ 未来の発見!」や2017年「ヨコハマトリエンナーレ2017 島と星座とガラパゴス」などの芸術祭に参加。2022年3月にベネッセアートサイト直島にオープンしたヴァレエギャラリーには、新たに一部改変された「スラグブツダ88」が恒久展示されている。また、中国人アーティストのチェン・シャオジョン、韓国人アーティストのギムホンソックとの、さまざまな境界を越えたコミュニケーションをテーマに活動しているアーティスト集団「西京人」での展示では、2016年「西京は西京ではない、ゆえに西京は西京である。」(金沢21世紀美術館)、2018年「Art and China after 1989: Theater of the World」(ソロモン R.グッゲンハイム美術館, ニューヨーク), (グッゲンハイム・ビルバオ, スペイン)などに参加している。

MISA SHIN GALLERY

東京都港区南麻布3-9-11パインコーストハイツ1F

アクセス方法

地下鉄ご利用の場合:

東京メトロ日比谷線 広尾駅より南部坂を經由し徒歩約12分

東京メトロ南北線・三田線 白金高輪駅より薬園坂を經由し徒歩約15分

バスをご利用の場合:

都営バス[橋86番]系統「仙台坂上」下車徒歩約3分

ちいばす「仙台坂上」下車徒歩約3分

麻布西ルート(広尾駅~麻布十番駅前(一の橋)~六本木けやき坂~広尾駅)

本展ではコロナ禍をきっかけに制作を始めたペインティング、ドローイングを展示いたします。家の中で目についた日用品のスケッチ、自身が以前描き始めて放置していた作品を描きあげたもの、子どもの絵の模写をもとに制作した油彩画、断片的なアイデアやその時思いついた思考を形にした作品、展覧会の構想など、スタジオで1人自分と向き合い制作した作品が並びます。



Ozawa Tsuyoshi, *untitled*, 2021
Watercolor on paper, 18.2 x 25.8 cm

MAP



お問い合わせ: info@misashin.com Tel: 03-6450-2334